

〔ブタミホス乳剤〕

農林水産省登録 第17660号  
 性 状：黄色澄明可乳化油状液体  
 毒 性：普通物  
 危 険 物：第4類第2石油類 III  
 有効年限：4 年  
 包 装：500 ml × 20 本

# クレマート® 乳 剤

有効成分：ブタミホス ..... 50.0%

除草剤分類 **3**



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農カサイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。  
 本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

## 〔適用と使用方法〕

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール当り使用量		総使用回数*	使用方法
			薬量	希釈水量		
メロン 漬物用 すいすい 漬物用 かぼち	一年生雑草	定植・マルチ前 (雑草発生前)	200 ∫ 400 ml	100 ∫ 150 ℓ	1 回	全面土壌 散布
レタス しな		定植前又は定植・マルチ前 (雑草発生前)				
キャベツ きゅうり いちご		定植前 (雑草発生前)				
ねぎ わさび あさつき		定植活着後 (雑草発生前) 但し定植 10 日後まで				
れいしよ ばいとん にらまの らっかせい にんじん パセリ		植付後萌芽前 (雑草発生前)				
こんにゃく		は種後萌芽前 (雑草発生前)				
たまねぎ		植付後又は培土後 (雑草発生前) 但し収穫 120 日前				
		春播栽培の定植後 (雑草発生前) 但し収穫 60 日前				
アスパラガス		秋播栽培の定植後 (秋季の雑草発生前) 但し収穫 60 日前				
		萌芽前 (雑草発生前)				
ピーマン とうがらし類		定植前 (雑草発生前)	200 ml			
はくさい とうがら ん ブロッコ り ひろしま						
うど	定植後出芽前 (根株養 成圃) (雑草発生前)					

作物名	適用雑草名	使用時期*	10アール当り使用量		総使用回数*	使用方法
			薬量	希釈水量		
わらび	一年生雑草	株養成期(地上部なし) (雑草発生前)	200 ∩ 400 ml	100 ∩ 150 l	1回	全面土壌 散布
グラジオラス		植付後(雑草発生前)				
きく (ポットマム)		定植後 (雑草発生揃期まで)				
アメリカネナシカズラ						雑草茎葉散 布又は全面 土壌散布
つつじ類	一年生雑草	植付後又は生育期 (雑草発生前)	200 ml		本剤:1回 ブタミホス:3回	全面土壌 散布
たばこ (折衷マルチ栽培)		植付10日前まで (雑草発生前)				
ケナフ		は種後出芽前	300 ∩ 400 ml		1回	

### 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきる。
- 本剤は雑草発生前処理の効果が大きく、雑草が大きくなってからの処理では効果が劣るので適期に処理する。
- 多年生雑草、キク科雑草およびツクサには効果が劣るので、それらが優占する圃場での使用はさける。
- 土壌が極度に乾燥している場合は効果が劣るので土壌が適度の水分を含んでいる時に使用する。又極度の過湿条件下では薬害のあることがあるので使用をさける。
- 砂質土壌では薬害を生じやすいので所定量の範囲内で少なめの薬量を使用する。
- 播種又は植付後は砕土、整地、覆土はていねいに行い均一に散布する。
- 定植前処理の場合、薬剤のかかった土壌が作物の根にふれないように注意して定植を行う。
- 作物の生育中に散布する際はできるだけ薬剤が作物にかからないように注意する。
- たまねぎに使用する場合、春先などの気温が高くなる時期の散布は薬害を生じるおそれがあるので十分に注意する。
- 秋播たまねぎの春季処理は、薬害を生じるので使用しないよう十分注意する。
- はくさいの場合、定植後に激しい降雨があると薬害を生じることがあるので処理時期に注意する。
- たばこに使用する場合、薬害を生じることがあるので、植付時に処理土壌が茎葉に接触しないように注意する。  
また、トンネル栽培および改良畦面栽培では使用しない。
- 散布の際、付近の他の作物にかからないように注意する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### 安全使用上の注意

- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
  - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
  - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲などのないよう注意する。

誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。

本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。

- 本剤による中毒の治療法としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の併用投与が有効であると報告されている。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。  
眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮ふに対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。  
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 散布の際は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。  
また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意する。
- 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方.pdf](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/))」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4) - G」も合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- 有機リン系の除草剤です。
- 主に雑草の幼芽部より吸収され、微小管の形成障害を通して、細胞分裂を障害し殺草します。
- 散布後30～45日ぐらいの残効があります。
- ガスによる揮散が少ない剤です。